

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

当社は、「社会に貢献する」、「顧客を大事にする」、「共に豊かになる」という経営理念に基づき、社会資本整備における様々なニーズに対応すべく専門技術サービスを提供し、九州・沖縄の持続的な発展、豊かな自然環境の保全、地域社会の安全・安心の確保に取り組んでいます。これらの企業活動全般を通じて、持続可能な世界の実現を目指す SDGs の目標達成に貢献して参ります。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	SDGsに関する理解の促進のために、社員が関連セミナーに積極的に参加し、社内にフィードバックする。	SDGs関連セミナーへの参加実績 2024年 5件(累計) →2027年 10件(累計)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地域の社会資本整備を支える専門技術者を育成するため、若年層を積極的に採用する。	熊本県ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度支援候補者 2024年 3名(累計) →2027年 4名(累計)
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	生産性向上のために、国土交通省が掲げる「i-construction」に対応する人材を育成する。	無人航空機(ドローン)操縦技能資格保有者 2024年 9名 →2027年 10名

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)**更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

「NPO法人みらい・有明・不知火」の会員として、熊本県やその他の行政、並びに、県内の大学・研究機関及び企業等と連携し、「熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム」等を通じて、有明海・八代海の環境保全と再生に関する活動に取り組む。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	SDGsに関する理解の促進のために、総務担当者が関連セミナーに積極的に参加し、社内にフィードバックする。	SDGs関連セミナーへの参加実績 2021年 0件 →2024年 3件(累計)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	社内にフィードバックできる、業務に直結する内容を中心に関連セミナーに参加し、目標を達成することができた。	2024年 5件(累計)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地域の社会資本整備を支える専門技術者を育成するため、若年層を積極的に採用する。	熊本県ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度支援候補者 2021年 1名 →2024年 3名(累計)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	働き方改革の実践、初任給の引き上げなどに取り組む、目標を達成することができた。	2024年 3名(累計)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	生産性向上のために、国土交通省が掲げる「i-construction」に対応する人材を育成する。	無人航空機(ドローン)操縦技能資格保有者 2021年 5名 →2024年 7名
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	技能講習会等に積極的に参加させることによって、目標を達成することができた。	2024年 9名

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**